

旅客携帯品・国際郵便物の豚肉等におけるアフリカ豚熱ウイルスの 遺伝子検査陽性事例・ウイルス分離検査陽性事例について

2018年8月以降、中国をはじめアジア各地でアフリカ豚熱の発生が確認されています。動物検疫所では、日本の国際空港・国際郵便局における動物検疫所の検査で輸入が認められなかった豚肉等の一部についてアフリカ豚熱ウイルスのモニタリング検査を行っており、以下の陽性事例が確認されました。

動物検疫所では、これらの国からの旅客携帯品・国際郵便物について、動植物検疫探知犬による探知、家畜防疫官による口頭質問、開被検査等を強化しています。

【検査陽性事例(2025年9月末時点)】

旅客 携帯品	アフリカ豚熱ウイルス遺伝子検査陽性事例 : 214 例	うち4例でアフリカ豚熱 ウイルス分離検査陽性
国際 郵便物	アフリカ豚熱ウイルス遺伝子検査陽性事例 : 110 例	

【アフリカ豚熱ウイルス分離検査陽性となった豚肉等の情報(旅客携帯品)】

1 例目	到着日 : 2019年1月12日 (上海発、中部空港着) 品目 : ソーセージ (0.6 kg) (税関検査)	
2 例目	到着日 : 2019年1月12日 (青島発、中部空港着) 品目 : ソーセージ (1.3kg) (口頭質問)	
3 例目	到着日 : 2020年8月31日 (マニラ発、羽田空港着) 品目 : ソーセージ (2.2kg) (検疫探知犬)	
4 例目	到着日 : 2020年12月23日 (マニラ発、羽田空港着) 品目 : ソーセージ (3.5kg) (税関検査)	

到着日・・・当該品が空港等に到着した日。()内は所持者が搭乗していた航空機の出発場所及び到着空港。

品目・・・()内は、当該品について旅客の所持が確認され動物検疫所の輸入検査に至ったきっかけ。

「検疫探知犬」は検疫探知犬により反応があり所持が確認されたもの。

「口頭質問」は動物検疫所の家畜防疫官による旅客への口頭質問により所持が確認されたもの。